

# 平成15年度試験研究成果書

区分	指導	題名	主業型農家の経営変遷から捉えた酪農経営支援方策	
[要約] 就農時の10頭規模から、省力化と管理技術の高度化を図り50頭規模の専業経営へ変革した。さらに、100頭規模に進む経営体も見られる。現在の繋ぎ飼いに対する支援に加え、フリーストール体系や法人化など新たな管理領域に対する支援が重要となる。				
キーワード	主業型農家	経営発展過程	酪農	企画経営情報部 農業経営研究室

## 1 背景とねらい

本県農業を担う主業型農家の育成に資するため、県内の主業型農家の面接調査から経営発展過程を分析するとともに経営者の意向を踏まえた支援策を示す。

## 2 成果の内容

### (1) 経営発展過程及び発展段階

図1に示した発展過程を、下図のとおり経営参画期から経営再編期まで4段階に整理し、各段階の特徴的な課題や管理領域を示す。

経営発展段階	経営参画期 (S45 ~)	経営発展期 (S55 ~)	追加投資 (H2 ~)	経営再編期 (H12 ~)
主な外部環境 (P-乳価)	オイルショック 乳価上昇, 需給逼迫 細菌数差乳価 48円 100円	生乳計画生産 負債問題 + 乳成分差乳価 99円 91円	牛肉輸入自由化 技術革新進展 + 体細胞数差乳価 89円 83円	家畜排せつ物法 BSE発生 83円 ~
規模・乳量水準 経営管理領域	1.0頭, 4t 繋ぎ一列, P-ケツ 青草給与 家族 白色申告(標準)	3.0頭, 6t 繋ぎ二列, P-ケツ 通年サルジ 給与 家族+AM <sup>o</sup> - (始動) 白色申告(収支)	5.0頭, 8t 二列延長, P-ケツ ラップ化, 給与設計 家族+AM <sup>o</sup> - (定着) 青色申告(P-ソコ利用)	10.0頭, 9t P-ケツ, P-ケツ TMR給与, 堆肥化施設 家族+雇用+AM <sup>o</sup> - 法人化(税理士)
経営内部課題	経営基盤の整備 基本技術の習得	高品質乳の安定生産 計数管理の習得	高品質乳の高位生産 糞尿の堆肥化、散布 労働過重	新管理システムの習得 堆肥の散布、流通 法人メリットの発現

省力化 → 経営管理の高度化

### (2) 発展過程から捉えた具体的支援

発展過程及び経営者の意向を踏まえ、具体的な支援事項を示す。高度化が進む管理技術に対して関係機関の連携した支援が重要である。

経営管理項目	発展型	支援を要する具体的事項 (課題の要点, 支援内容・方法)
土地管理	,	・農地集積(作業の効率化, 組織的支援)・公共牧場の拡充(受け入れ牛拡大, 組織的支援)
生産・作業管理		・フリーストール・P-ケツ体系(群管理システムの円滑運営, システム運営指導) ・自動哺乳装置(哺乳省力化, 導入効果指導) ・搾乳ロボット体系(搾乳自動化, システム運営指導)
		・牛舎リフォーム(牛の快適性改善, 改修指導) ・エット自動搬送装置(1人搾乳体制, 効果指導)
	,	・給与管理(個別・群別栄養設計, 給与指導) ・搾乳管理(衛生的搾乳, 搾乳指導) ・デントローツップ体系(労働拘束軽減, 導入効果指導) ・TMRセンター(給餌作業省力, 組織的支援)
環境保全管理	,	・堆肥処理(堆肥化・保管・投入技術, 改善指導) ・堆肥流通(利用計画・耕畜連携・販売, 組織的支援) ・排水(P-ケツ水, 設置指導) ・堆肥センター(効率運営, 組織的支援)
組織・労務管理		・法人化(意義確認, 計画・運営指導) ・労務管理(勤労意欲保持, 管理指導)
		・AM <sup>o</sup> -利用(定休拡大, 組織的支援) ・家族経営協定(P-ケツ意識の啓蒙, 締結指導)

注) 発展型 : フリーストール体系へ移行する100頭規模の経営体  
 発展型 : 繋ぎ飼いを継続する50頭規模の経営体

## 3 成果活用上の留意事項 特になし

## 4 成果の活用方法等

(1) 適用地域又は対象者 県内全域

(2) 期待する活用効果 関係機関において、酪農振興策の策定及び指導場面において参考とされる

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(700)「主業型農家の経営発展過程分析による育成支援方策の解明」(H13~H15, 県単)

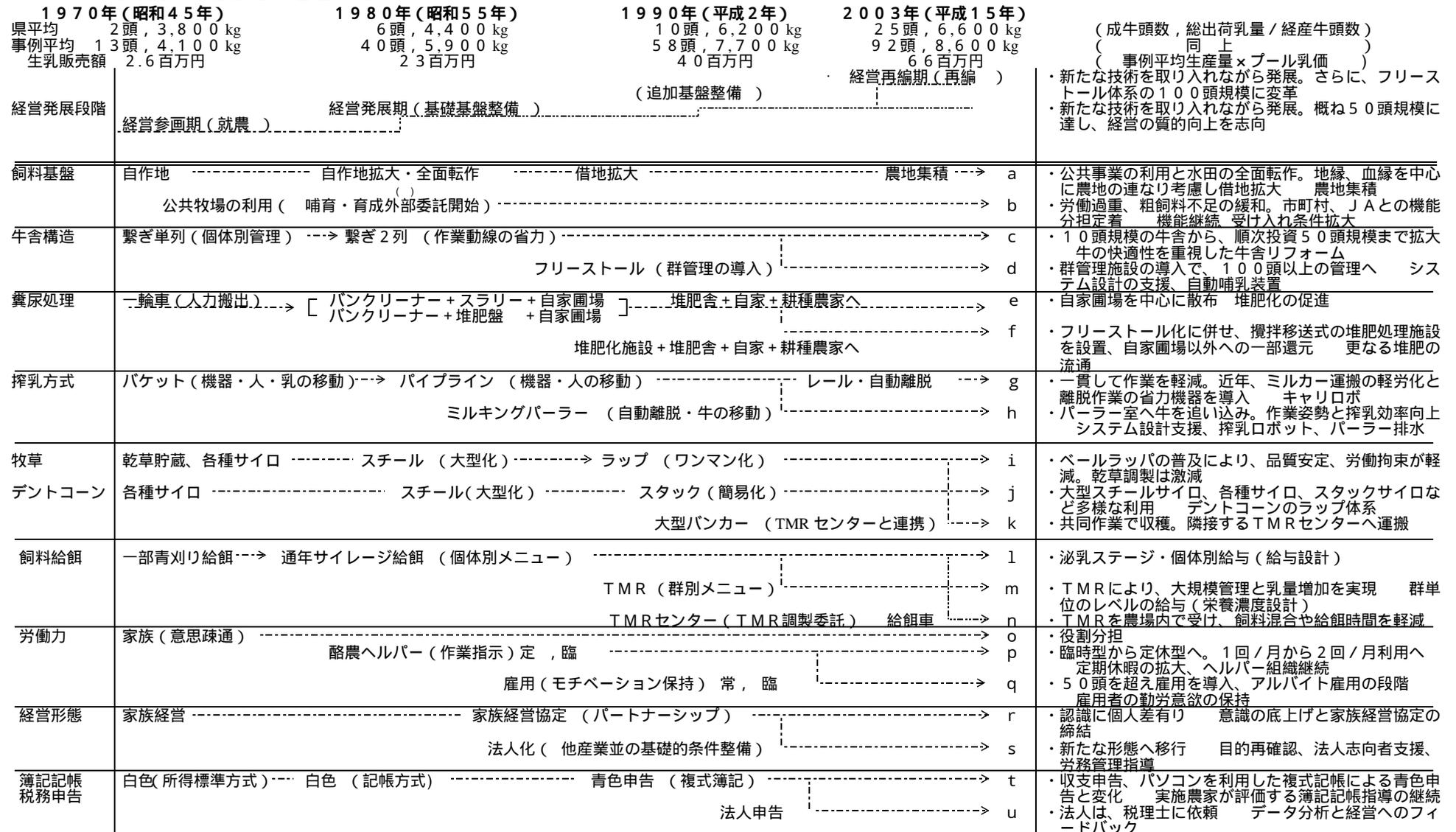
## 6 参考資料文献

岩手の畜産戦後50年の歩み, (社)岩手県畜産会, 1998

表1 調査経営体の経営概要

市町村	経営形態	経営主年齢	労働力	経産牛頭数	飼料基盤面積	牛舎構造	市町村	経営形態	経営主年齢	労働力	経産牛頭数	飼料基盤面積	牛舎構造
KU	家族経営	50歳	2人	40頭	12ha	繋ぎ飼い	KA	家族経営	50歳	2+臨1人	62頭	26ha	繋ぎ飼い
KU	有限会社(1戸)	52歳	3+臨1人	100頭	29ha	フリーストール	KA	農事組合法人	55歳	3+臨1人	120頭	65ha	フリーストール
							IW	有限会社(1戸)	52歳	3+常2人	140頭	36ha	フリーストール

図1 事例から捉えた経営発展過程系統図



注：図中の は、経営体がそれぞれの項目について施設を導入、または実施した年を示す